

伊集院保健所感染症情報

2025年第19週（令和7年5月5日～令和7年5月11日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内警報発令中：咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第16週	第17週	第18週	第19週	先週からの増減	第18週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	125.50	112.00	142.50	110.50	↘	59.21	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.50	0.50	0.50	→	0.79	→
COVID-19	—	—	—	0.50	1.50	1.50	0.00	↘	0.95	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	3.00	1.00	2.00	6.00	↗	1.32	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	8.00	5.00	8.00	6.00	↘	2.65	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	12.00	3.00	8.00	5.00	↘	10.16	↘
水痘	2	1	1	1.00	1.00	3.00	0.00	↘	0.32	→
手足口病	5	2	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.23	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	6.00	1.00	0.00	↘	0.19	↘
突発性発しん	—	—	—	1.00	1.00	0.00	0.00	→	0.55	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
RSウイルス感染症	—	—	—	4.00	7.00	2.00	3.00	↗	1.16	↘
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			百日咳2（6）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC 日本国内で麻しん患者の報告数が増加しています。

国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトの2025年第18週の速報データによる全国の麻しんの患者報告数は11人で、千葉県、東京都などから報告されています。また、2025年（第1週～第18週）に入ってから累計患者報告数は、106人となっています。

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で感染力がとても強く、空気感染、飛沫感染、接触感染で広がります。症状としては、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんによる肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症し、また死亡する割合も先進国であっても1,000人に1人と言われています。その他10万人に1人程度、罹患後、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）などの中枢神経疾患を発症することもあります。

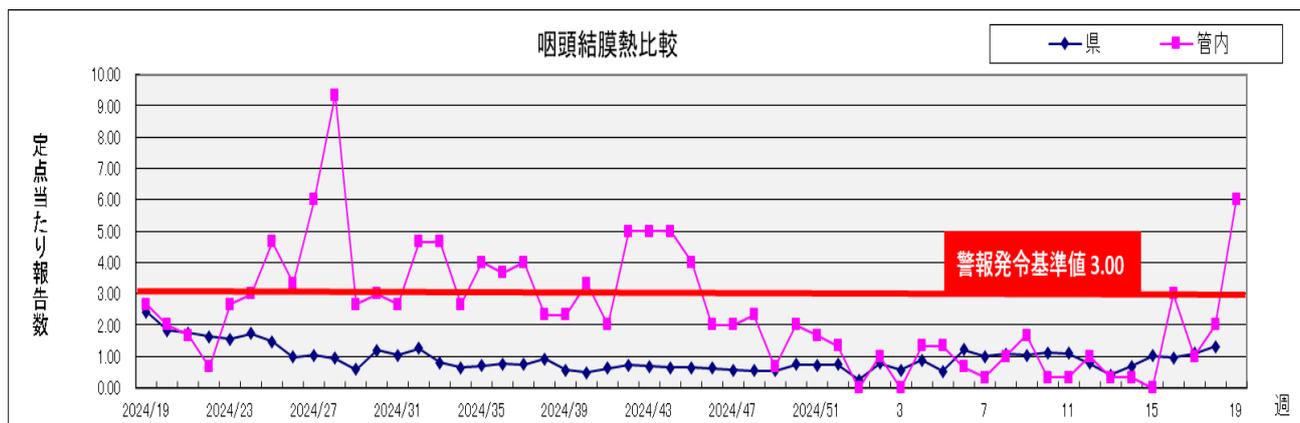
麻しんは、感染力が強く空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防できません。

麻しんの予防接種が最も有効な予防方法と言えます。また、麻しんの患者に接触した場合、72時間以内に麻しんワクチンの接種をすることで、麻しんの発症を予防できる可能性があります。

ワクチン接種を受けた方が良いのは、定期接種の対象年齢（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）は、積極的勧奨の対象ですが、定期接種の時期にない方で、「麻しんにかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない方」は、かかりつけの医師にご相談ください。

● 注意すべき感染症

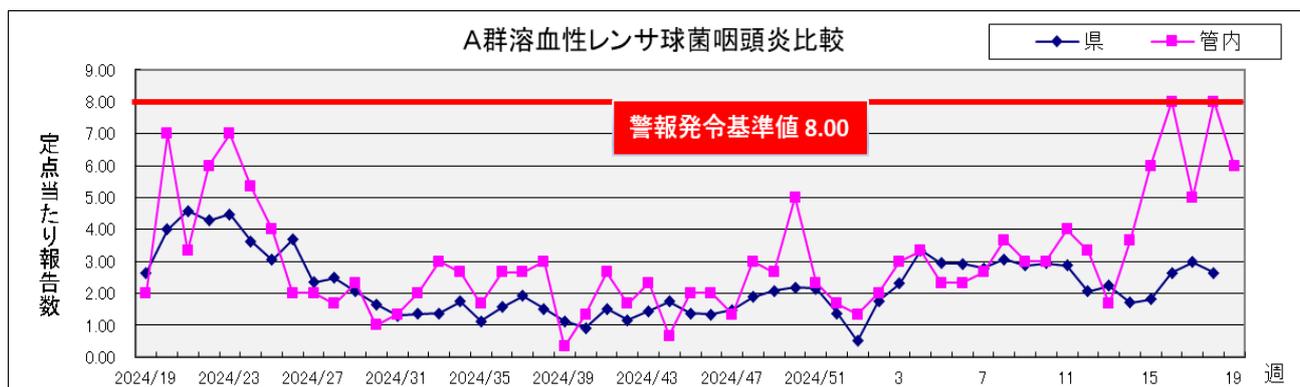
● 咽頭結膜熱（流行警報発令中）



第 19 週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、6 人でした。年齢別では、1 歳（6 人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第 19 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、6 人でした。年齢別では、4 歳(2 人)、6 ヶ月～11 ヶ月・5 歳・6 歳・10 歳～14 歳（各 1 名）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 5/5～5/11（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザB型 2人、百日咳 1人、感染性胃腸炎 1人、マイコプラズマ感染症 7人報告されています。

疾患名 自治体名	インフルエンザB型	百日咳	感染性胃腸炎	マイコプラズマ感染症
日置市	0	1	1	7
いちき串木野市	2	0	0	0
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	2	1	1	7